



かもさと



議会 だより

- ◇3月定例会の審議状況 …P 2
- ◇3月定例会一般質問に7人 …P 5
- ◇アンケートの集計結果について …P12
- ◇6月定例会会期日程等 …P20

交通手段などに関するアンケートの集計結果をお知らせします。

降り注ぐ光 湧き上がる希望

91

稲作
(大字嘉美久城地内)



3月定例会は、3月5日に開会され、議員7名の一般質問と令和3年度当初予算等の町長提出議案・承認27件等を審議して23日に閉会しました。定例会で審議された内容をお知らせします。

◆ 専決処分 ◆

専決処分の承認を求めること（承認第1号）

要旨 一般会計予算において新型コロナウイルスワクチン接種に係る委託料などの増額補正について承認するものです。

専決処分の承認を求めること（承認第2号）

要旨 傷病手当金についての上里町国民健康保険条例一部改正を承認するものです。

◆ 条例 ◆

上里町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

要旨 会計年度任用職員を含む非常勤職員について、育児休業及び部分休業に係る規定の整備を行うものです。

上里町子ども医療費支給に関する条例及び上里町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

要旨 医療機関等が個人番号カードを利用して電子資格確認を行えるようにするための改正を行うものです。

上里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

要旨 子ども・子育て支援法が改正され引用条文の項ずれを修正するものです。

上里町敬老祝金支給に関する条例の一部を改正する条例

要旨 上里町敬老祝金の支給方法を現金から口座振込へ変更することに伴い、所要の改正を行うものです。

上里町介護保険条例の一部を改正する条例

要旨 令和3年度から令和5年度までの介護保険第1号被保険者の保険料の見直しにより、所要の改正をするものです。

上里町介護保険法に基づく指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に係る基準に関する条例等の一部を改正する条例

要旨 事業者の虐待の防止に関する規定、業務継続計画の策定、感染症の予防・まん延の防止のための措置及びハラメント対策の義務化に関する規定等の追加をするものです。

◆ 道路線廃止・認定 ◆

上里町町道路線の廃止

要旨 道路形状がなく、払い下げの予定のある2路線を廃止するものです。

上里町町道路線の認定

要旨 町道廃止に伴う再認定及び道路用地の寄附採納により5路線を認定するものです。

◆ その他 ◆

上里町公の施設の指定管理者の指定

要旨 上里町総合文化センターについて、指定管理者（※）として一般財団法人上里町文化振興協会を指定するものです。

※用語

指定管理者制度

公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度。

財産の取得

要旨 上里町烏川・神流川総

合運動公園（上里ゴルフ場）整備事業に係るゴルフ場用地を取得するものです。

上里町が本庄市に委託する一般旅券の申請受理及び交付等に係る事務の変更

要旨 一般旅券（パスポート）

の申請受理及び交付等に係る事務を本庄市に委託するための、「本庄市と上里町との間における一般旅券の申請受理及び交付等に係る事務の委託に関する規約」について、旅券法の一部改正による項ずれを改めるものです。

令和2年度補正予算

上里町一般会計補正予算（第9号）

概要 歳入歳出それぞれ8億

5037万6千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ141億3672万1千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・財政調整基金積立金

4億2218万3千円

- ・小学校管理運営事業

（長幡小学校校舎、上里東小学校体育館トイレ等の改修）

2億3905万円

- ・総合文化センター運営事業（ワープ上里の天井、空調設備等の改修）

1億9840万1千円

- ・公共施設等用地取得及び施設整備基金積立金

1億5千万円

- ・道路新設改良事業

1億1617万円

- ・児玉工業団地アクセス道路事業

3360万円

一般会計の他、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。

令和3年度予算

令和3年度一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、農業集落排水事業特

別会計、水道事業会計、下水道事業会計を慎重審議のうえ可決しました。（下表参照）

なお、予算の概要については、「広報かみさと4月号」に掲載してありますので省略いたします。

令和3年度補正予算

令和3年度上里町一般会計補正予算（第1号）

要旨 新型コロナウイルスワ

クチン接種に関する体制を確保するものです。

請願・陳情

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るため国へ意見書の提出を求めることに関する陳情

要旨 「安全・安心の医療・

介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書」を国に提出することを求めるものです。（提出者・埼玉県医療介護労働組合連合会執行委員長）

令和3年度一般会計・特別会計・企業会計当初予算集計表

（単位：千円）

区分	会計名	令和3年度予算額	令和2年度予算額	増減率
	一般会計	9,032,000	8,827,800	2.3%
特別会計	国民健康保険	3,042,173	2,814,070	8.1%
	介護保険	1,957,318	1,837,572	6.5%
	後期高齢者医療	316,088	310,958	1.6%
	農業集落排水事業	16,647	18,262	△8.8%
企業会計	水道事業	919,119	918,802	0.0%
	下水道事業	506,229	512,198	△1.2%

※水道事業及び下水道事業は、収益的支出と資本的支出の合計額です。

3月定例会 議案に対する各議員の賛否

議案	議員名					猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	植井敏夫	高橋正行	納谷克俊	沓澤幸子	高橋 仁	新井 實	結 果
	黨 浩之	高橋茂雄	高橋勝利	飯塚賢治	仲井静子										
専決処分の承認を求めること（承認第1号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認を求めること（承認第2号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	承認
上里町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町こども医療費支給に関する条例及び上里町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町敬老祝金支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	可決
上里町介護保険法に基づく指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に係る基準に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町公の施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町町道路線の廃止	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町町道路線の認定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の取得	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町が本庄市に委託する一般旅券の申請受理及び交付等に係る事務の変更	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度	上里町一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町介護保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和3年度	上里町一般会計予算	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	上里町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町介護保険特別会計予算	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	上里町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町水道事業会計予算	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町下水道事業会計予算	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願・陳情	×	×	×	×	×		×	○	×	×	○	×	○	不採択	
令和3年度上里町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。

(○)賛成 ×反対

タブレット端末を導入しました

上里町議会では、議会活性化特別委員会において議会のペーパーレス化について調査研究してきました。

タブレット端末を活用し、資料等のデジタル化による議会運営の効率化と用紙・印刷・郵送等の経費及び労務、環境負荷の軽減を目指します。



タブレット端末を使用した会議の様子



沓澤 幸子

問 持続可能な社会に向けた環境改善計画を

答 ごみゼロの町実現のため高い理想を掲げたい

1 質問
コロナ禍における
AI事業について

問 新型コロナウイルス感染の下で総合事業の利用控え状況は。介護現場は低賃金重労働の上にコロナ禍で御苦労されている中、策定された町の第8期計画の特徴は。

答 通所サービスの介護給付は3～5月に若干減少した後には回復し増加している。総合事業の給付状況は、4～6月顕著な減少があった後も減少が見られた。第8期計画は、非常事態でも高齢者を取り残すことなく支援できるように記載した。

問 2回目の緊急事態宣言中に、町の感染者は約3倍になった。感染者の早期発見のため、県・国が決めた高齢者入所施設の一斉PCR検査の町内施設の実施計画状況は。又、2分の1補助を使った通所施設の検査実施を。

答 入所施設のPCR検査は、県が直接手続きし3月までに

行う。通所サービス従事者の定期的なPCR検査は、感染拡大の抑制や早期治療に有効な手段の一つだが、優先すべきは、マスク、手洗い、手指消毒等日々の感染対策の徹底だ。

問 高齢者の健康寿命を伸ばす取り組みが減り、自粛生活で運動不足が深刻です。長瀬町の様に防災無線でラジオ体操を流すなど気軽に出来る健康法を検討しては。

答 高齢者の健康増進にはワークチン接種をして頂く。外出自粛が続き身体機能の低下や心理面など、私も健康に危惧しているので、長瀬町の例を参考に検討したい。

2 質問
公共施設の再配置
維持保全計画について

問 2021年度から3年計画の、保健センター・老人福祉センター・福祉市民センターの集約・複合化建設計画は、白紙の段階から様々な年代や利用者の意見を取り入れ

た協議を。

答 現在、コンサル事業者と導入機能、規模、適切な土地利用や建物配置計画の検討等、基本構想の策定を進めている。白紙の中での議論ではなく、自身の考えを盛り込んだ素案を作る。再配置計画の中で説明会を行い意見を吸い上げる。

問 長幡小学校と公民館・児童館の2023・24年度計画改修と複合化に向け、先ず小学校を改修し、児童館の放課後児童クラブを移転する第1号事業で、放課後児童クラ

ブは、学校との独立性が保たれる移転となるのか。

答 来年度の改修工事で特別教室と1階生活科室を改築し、現状どおりの運営計画で、放課後児童クラブを令和4年度開設予定。児童館は乳幼児・高校生まで利用できる施設としてモデルとなるようにしたい。

3 質問
第2次環境基本計画
の見直しにあたって

問 昨年10月、国が2050年に温室効果ガス排出量ゼロを表明した下での町の環境基本計画の見直しについて、持続可能な社会に向けた抜本的な環境改善を目指した計画とし、審議会は男女同数を希望します。

答 上里町環境審議会に諮問する。条例による関係団体の代表者等から環境に関する課題を身近に感じ取れる方などを委嘱したい。私の目指すごみゼロの町実現のため高い理想を掲げたい。



長幡小学校特別教室棟



高橋 勝利

問

神保原駅北口活性化をどのように進めていくのか

答

具体的プランや整備手法を検討していきます



賑いのあった神保原駅北通り

質問 1
神保原駅誕生までの軌跡及び塩原学園移転について

問 神保原駅北口活性化は、

上里町は勿論、議会においても課せられた課題であると思えます。町長は議会議員の時に「諸先輩によって築き上げられた郷土を更に磨きかけて子孫に伝えなければならぬ」と話していました。どのように磨きをかけて行くのかお聞きします。

答 駅 の 存在 は、重要な公共交通の拠点として町の発展や町民の利便性に大きく寄与してきたと認識しています。今の上里町があるのは、先人た

ちが当時の地域課題に対して真摯に向き合い、多大なるご尽力をなされた結果と言え、未来に向かって歩むための重要な参考資料となります。

問 現在取り組まれている北口開発発起人会の取組をどのように導いていくのか、何故最初の計画と違う日程になったのかお聞きします。

答 当初は11月に住民説明会開催を予定していましたが、発起人会の具体的整備方針を住民説明会で示していく必要があるとのご意見があり、ご承認を得てスケジュールを変更いたしました。

問 町長が力を入れている「停車場線の拡張」「ロータリーの整備」などの計画についての進捗状況をお聞きしたい。

答 駅北町づくりの骨格となる、道路及び駅前広場整備の進捗状況について、今年度は駅北口周辺整備の事業化に向け、具体的プランや整備手法を検討しています。停車場線の都市計画決定につきました

は、道路管理者である県と協議してまいります。

問 塩原学園が移転する事と大和製糸工場が岡谷から移転した経緯はよく似ていませんか。町長が持ち掛けた「トップセールス」の成果であり、移転実現に向けての町長の見解をお聞きしたい。

答 学校法人の移転につきましては、実現に向けてしっかりと道筋をつけていきます。移転計画が実現することで、昼間人口の増加や若年層との交流により地域に若々しさが生まれ、町に賑わい、活力が戻り、少子高齢化や地域コミュニティの希薄化など地域が抱える課題解決につながると考えています。

質問 2
生活道路整備について

問 八町河原の町道1062号線は、住民の生活道路であり、雨天の際には雨水が溜まり、子供たちの通学にも支障があるという事で早期改善が

望まれていました。子供たちが安全・安心に通学できる環境整備の為に、町長の前向きな答弁を頂きたい。

答 町道1062号線は小学校の通学道路にもなっている事から、町でも優先的に舗装をする路線として認識しております。議員の話を受け、令和4年度以降優先順位をつけてやっていく事でご理解頂きたい。

質問 3
公園維持の在り方について

問 各地区に存在する小公園は、地域の子どもが気軽に遊べる場所であり、老朽した遊具を簡単に撤去するのではなく、公園とは何かを考えて判断していただきたい。

答 町では、遊具が設置されている公園を毎年点検し、異常が確認された遊具につきましては、子どもたちが安全に遊んでいただくためにも、撤去を含め適切に管理していきます。



納谷 克俊



問 学校法人誘致の事業スキームは

答 白紙であり、今後慎重に粛々と進めていく

質問 1 リバーサイドロードと藤木戸勝場線について

問 リバーサイドロードは令和3年度から施工可能な区間について工事着手するとのことだが、その財源見込みは。

答 国の防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に位置づけられており、社会資本整備総合交付金を活用し、早期完成を目指して鋭意進めていく。

問 県道藤岡本庄線の交差点改良工事が完成すると、藤木戸勝場線への交通流入が増加することが予想される。

答 昨年12月に長幡地区の区長さん全員の賛同・賛成が得られた藤木戸勝場線の早期の道路歩道整備の要望が提出されたとのことだが、要望を受け、なお藤木戸勝場線の整備についてはリバーサイドロードの完成後の着手ということに変わりはないのか。

答 町の発展、生活道路への車両流入の減少、災害時にお

ける幹線道路へのアクセス確保の観点から、リバーサイドロードを優先整備する。

藤木戸勝場線については、リバーサイドロードの完成後、計画的に整備していく。

質問 2 雨水排水対策について

問 上里公共下水道浸水対策検討業務委託の結果報告があり、元小山第一排水区の概算事業費は約67億9千万円、古新田排水区の概算事業費が43億6千万円とのことである。国庫補助や地方債を見込まれているようですが、事業化の見込みはあるのか。

答 莫大な金額が必要な事業であり早期の事業化は非常に困難な状況である。

問 当面の雨水排水対策として三田中通り線スポット対策を先行着手する可能性もあるのか。

答 三田中通り線拡幅が可能となる雨水対策をしていかなければならないと考えている。

今後、町の財政状況や時期を含め、慎重に検討していきたい。

質問 3 学校法人の誘致及び事業スキーム並びに今後のタイムスケジュールについて

問 誘致に至るまでの過程について伺います。

答 駅北の大型商業施設跡地について、かねてから町のために活用できる方法はないかとの話をいただいております。駅周辺の町づくりを推進している町としては、民有地であるがアイデアを出してもよいのではと考え、トップセールス



神保原駅北回の様子

として学校法人に対して移転の可能性を打診しました。

問 地権者と土地購入の交渉をされているようですが、多くの事業を見直して選択と集中でやっていくという状況の中で、大金を出して町が普通財産として購入する意義、町民の理解は得られるのか。

答 町民の幸せづくり、子どもから高齢者まで含めてどういう形が一番町民の理解が得られるのか、しっかりと受け止めていきたい。

問 土地を購入して10年間無償貸与という事業スキームで行うとして、例えば経営上学校法人が10年後に土地を買うことが出来ないとなったときには町の将来を大きく左右する問題ですのでしょうかと検討していただきたい。

答 町が購入して無償で貸すことも全く白紙であり検討段階ではない。公有地にできるかどうかも含めて慎重に粛々と進めていくのが私の役目であると思っています。



飯塚 賢治

問 ワクチン接種は準備に余念がないように

答 円滑な接種体制の構築をしていきたい

1 質問
新型コロナウイルス
感染拡大防止策の強
化について

問 町内感染者数が1ヶ月間
で60例と急激に増えたが防止
策の強化はどのように考えら
れたのか。

答 感染防止策は3密を避け
ること、マスクの着用、手洗
い、手指消毒等日々の感染対
策の徹底を図ることと考える。

問 高齢者施設でのクラス
ター発生防止策としてどのよ
うなことをお考えか。

答 高齢者施設等に対し、サ
ービス提供時に適切な個人用
感染防護服の使用等により感
染経路を遮断する取り組みに
ついて要請していきたい。

問 ワクチン接種について、
具体的な接種体制は全て市町
村で構築することになってい
る。職員の皆様には大変なご
苦労となるが町民の皆様の方
待に応えるため、準備に余念
がないようお願いしたい。コー
ルセンターにて適切な情報を早

めに提供することができると、
接種希望を提出するまで簡素
化されているか、個別接種が
大型会場での接種か選択でき
るのか、かかりつけ医のいな
い方についてはどのようになる
のか、移動手段がない方の対
応は、高齢者施設入居者と施
設職員の方も同時に接種でき
ないかなどについて伺いたい。

答 町は①一般的な問合わせ
に対する相談窓口、②予約
を受け付けるコールセンター
の設置を検討している。ク
ーポン券とともにワクチン接種
の流れの説明文を送付し、接
種会場や予約方法も分かりや
すく伝えたい。接種方法は個
別接種と集団接種を併用する
方向で検討しており、どちら
か希望する方法で予約できる
かかりつけ医がワクチン接種
を実施する医療機関であれば
接種できるが、そうでない方
は、かかりつけ患者でない方
でも接種可能な医療機関での
接種か集団接種会場での接種
となる。移動手段がない方の

接種会場への送迎については
検討中である。高齢者施設入
所者と施設職員への同時接種
は、町と施設双方の体制が整
うなど一定の要件を満たせば
実施しても差し支えないとさ
れている。円滑な接種体制の
構築をしていきたい。

2 質問
自主防災組織につ
いて、コロナ禍でストップし
てしまったことを考慮して、
進捗を早めるべきと考えるが、



問 自主防災組織の整備につ
いて、コロナ禍でストップし
てしまったことを考慮して、
進捗を早めるべきと考えるが、

答 コロナ禍においても災害
は発生するおそれがある。町
としても目標を早期に達成で
きるよう努めてまいりたい。

問 自主防災組織用の倉庫設

置にあたり補助金をつけてい
ただけないか。

答 自主防災組織の強化を図
るため、自主防災活動に係る
補助に加え、倉庫設置に係る
補助制度の導入についても先
進自治体の事例を参考に検討
してまいりたい。

3 質問
行政手続のデジタル
化でオンライン申請
の推進について

問 マイナポータル・ぴった
りサービスのメニューの中か
らどういったものを活用し、
今後検討していく項目がある
のか、具体的にお示し願う。

答 町では、既にマイナポー
タル・ぴったりサービスを活
用し児童手当等の申請や妊娠
の届出などの子育て関連手続
15種類について、オンライン
受付を開始している。罹災証
明書の発行申請もオンライン
受付を行う環境を整えている。
その他の手続についても、順
次オンライン化による受付を
開始していく予定である。



新井 實

問 神保原駅北町づくり事業について

答 3月中に町民3千人のアンケート調査実施

1 小学生の通学用リュックの利用について

問 小学生の通学用ランドセルに変わる安価なリュックの利用促進についてのお考えは。

答 教育長 ランドセルの使用を義務付ける法律はなく、

町内小学校においてもランドセルの指定はしていません。リュックサック導入については、メリット・デメリットを調査し、ランドセルとリュックのどちらでも使用できるよう検討したいと思っています。リュックサックの無料配布については、財政状況を勘案した上で判断したいと考えています。

2 公立小学校の1クラススの人数を減らすことについて

問 公立小学校の1クラススの人数を2025年までに35人以下に段階的に引き下げることになったが、学級数増加による教員や教室の確保について

てのお考えは。

答 教育長 本町ではクラススの人数を35人以下に引き下げることは、今後の年度別入学者数の見込みは緩やかに減少傾向にあり、現在より学級数が増えることはないと思っております。

3 新型コロナウイルスの自宅療養者への支援について

問 新型コロナウイルス感染の自宅療養者への重症化を防ぐためのパルスオキシメーターについてどのように対応されているのか。

答 県では、各地域の担当保健所が新型コロナウイルスの感染が判明し、自宅療養することになった人に、パルスオキシメーターの貸し出しを行っている。保健所では、療養者が安心して療養ができるように、毎日職員が電話で健康観察やパルスオキシメーターの測定値を確認しています。

4 高齢者個別避難計画の策定について

問 災害時に支援が必要な高齢者一人一人の避難方法を事前に取り決めておく個別計画の策定について、どのような状況か。

答 町では平成30年3月、上里町地域防災計画の改訂を行い、避難行動支援者名簿の作成及び個別計画の策定について進めてきました。避難行動支援者名簿の登録者は令和2年10月1日時点で1265人となっております。この中で個別計画の作成を希望された方は825人で、全体の65.22%です。

5 神保原駅北町づくり事業について

問 神保原駅北町づくり事業発起人会の進捗状況と今後の町づくり協議会の立ち上げについて伺いたい。

答 現在までに発起人会は会議を3回開催しています。ま

た、3月中に町内3千人を対象に町づくりに関するアンケート調査を実施し、年度当初には住民説明会を実施する予定です。町づくり協議会は上半期の設立を目指しています。



神保原駅北口の様子

6 コロナウイルスワクチン接種について

問 円滑にコロナウイルスワクチンを接種できる体制を整えることについてどのようなお考えがあるのか。

答 ワクチン接種の実施計画策定の為、本庄市児玉郡医師会と調整しながら準備を進めています。ワクチン接種体制は個別接種と集団接種の併用で検討しています。



一般質問

仲井 静子



問 スピード感のある情報発信を

答 上里町公式LINEを4月開始予定

質問 1 コロナ禍の高齢者の健康維持とフレイル対策の現状について

問 自粛生活の長期化に伴い、高齢者の孤立、食の偏り、人や地域社会とのつながりが減り、生活不活発を背景とした高齢者の健康二次被害と言った新たな問題が生まれている。身体機能の低下だけではなく鬱病などの精神面や認知機能の低下にも影響するフレイル（※）の予防対策についてお尋ねする。

答 町のホームページに「お家でできる介護予防」の見出しを作り動画配信し、コロナ禍において高齢者が気をつけるポイントや健康に過ごす知恵など情報を提供している。また、運動の大切さを伝える「こむぎっちちよっくら健康体操便り」を作成し、町内の薬局やクリニックに掲示していただくよう依頼している。広報誌では、自宅で行えるフレイル予防を一年間通し

て毎月情報提供する予定である。フレイル予防をどのように展開するか、電話調査のご意見を踏まえ、他市町村の取り組みを考察し検討していきたい。



質問 2 食品ロス対策とフードパントリーの対応について

問 新型コロナウイルス感染症の拡大は国民生活を圧迫し、特に母子家庭の子どもを取り巻く環境は厳しさを増している。また食べられる食材を地域の住民や企業から提供を受け、食材を必要としている人に無償で提供するフードパン

トリーは、食品ロスを少しでも減らすことで循環型社会の構築や社会貢献の促進にもつながる新しい食のリサイクルの形である。こうした取り組みについていかがお考えか。

答 町の子供の居場所づくりの取り組みとして、地域交流、世代間交流の場である子ども食堂の事業を継続支援し、フードパントリーは単に食料を手渡すだけでなく、孤立しがちなひとり親家庭の居場所になっており、生活に困窮する世帯が抱える課題解決の糸口となる。県、県社協、関係機関の協力を得ながら情報収集し、支援してまいりたい。

質問 3 スピード感のある情報発信を

問 外出自粛の影響で多くの方が訪れた町のホームページのアクセス数は。

答 町内在住者の新型コロナウイルス感染症状況や支援策を検索する方が大幅に増加した。令和2年度113万6377

件で前年度の約5倍のアクセス数となった。

問 コロナの影響により劇的に増えた情報をわかりやすく町民に伝える為、何か工夫をしたか。

答 トップページに感染症に関する情報をまとめたインデックスをつくり、重要性の高い順に掲載した。今まで以上に大切な情報、関心の高い情報の整理や項目立てを行い、文字だけでなく、イラストや写真画像を使っている。情報を受け取る側に寄り添った情報発信がタイムリーにできるように、他市町村のホームページも参考に研究、更新していく。

問 情報発信する部署のそれぞれの職員が、町民へいち早く情報をお伝えする事の重要性を認識すべき。

答 職員には改めてスピード感のある情報発信をお願いしている。また、即時性のある伝達方法として上里町公式LINEを準備している。

※用語 フレイルとは加齢により心身が古い、衰えた状態のことで、「健康」と「要介護」の間にある状態のことをいいます



高橋 茂雄

問 負の遺産である旧石綿水道管の対応は

答 水道事業において責任を持って対処する

質問 1 環境問題について

問 次世代に残したくない負の遺産として、旧石綿水道管があります。旧石綿水道管は、ほとんどが民地をまたぎながら宅地や畑等に埋設されています。現在町内では本管を入れ替えるにあたり、公道を通す計画で随時進めていますが、廃止された旧水道管本管はアスベストを含んだまま地中に放置されると聞いています。本管が新設されると旧本管の路線図はなくなるのでしょうか。

何年先か分かりませんが、旧水道管が掘り起こされた場合の補償や片づけについてどのように考えているのか伺います。

答 石綿セメント管は施工性がよく、また安価であったことから、過去において水道管として広く使用されておりました。しかし、強度が弱く地震などで破損するおそれがあ

ることから、安定した給水の確保を目的に、平成20年度から10か年計画で石綿管更新事業を行いました。本来であれば廃止した石綿管は撤去することが望ましいところではあります。布設工事を行った当時の状況と比べると地域の様子が大きく変化したこと、地中に埋まったままの状態であれば健康への影響がないことから、埋設状態となつていくところであり、再開発などで掘り起こされた場合や、その他何らかの原因で埋設箇所を掘削する状況が発生した場合は、適切に対処し、水道事業で処分しています。

石綿管の埋設箇所や取扱い方法は将来にわたって継承し、水道事業が責任を持って対処してまいります。

質問 2 教育問題について

問 去年はコロナ禍で学校も休業が多く、担任の先生ともコミュニケーションが取れな

かった生徒もいると思われる。また、小学校高学年になると人格も育ち、学校に行きたくないという児童もいると思われ、中学に進学するにあたり、支援学級への入級についての選考の仕方については慎重にお願いします。

今後の上里町では、支援を必要とする子どもたちの可能性を最大限に伸ばし、生活や学習上の困難を改善、または克服できるよう、一人一人の教育的ニーズを踏まえた適切な指導や必要な支援の充実に取り組んでまいります。

答 教育長 特別支援学級とは、小学校、中学校等に教育上特別な支援を必要とする児童及び生徒のために置かれた学級です。通常学級における教育では十分な教育効果を上げることが困難な児童・生徒のために設置されております。通常学級から特別支援学級への入級に当たっては、上里町就学支援委員会において、必要とする支援の状況、本人の教育的ニーズ、本人、保護者の意見、医学、心理学等専



交通手段などに関するアンケートの集計結果について

多くの皆様にご協力を頂き、ありがとうございました。

実施方法：令和2年12月1日発行の「かみさと議会だより」にアンケートを掲載し同封の料金受取人払い郵便にて回収、または直接役場設置のBOXに投函頂き回収しました。

なお、「かみさと議会だより」は行政区ごとに戸別配布（一世帯につき一部）をしております。

配布部数11,000世帯に対し、有効回答部数923部、回収率8.39%でありました。

実施期間：令和2年12月1日～令和3年1月31日まで

問1. 初めにあなた自身についてお聞かせください。

(1)あなたの性別は

性別	男性	女性	合計
回答者数 (人)	375	524	899
回答率 (%)	41.7%	58.2%	100.0%

※着色箇所□は回答率が最も高い箇所です。

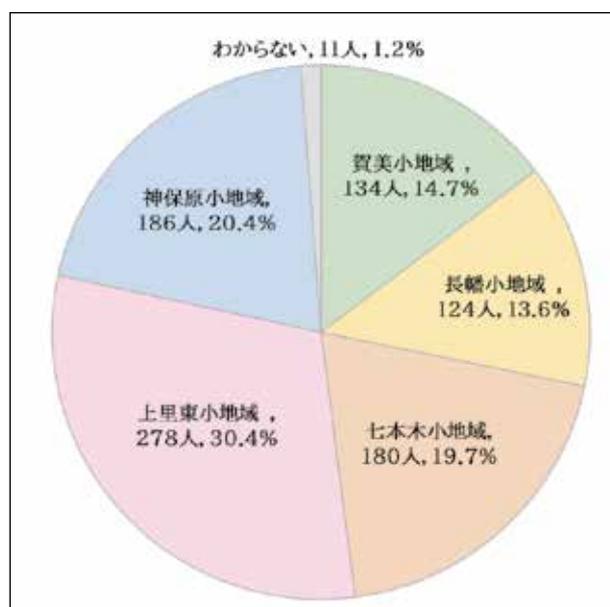
(2)あなたの年齢は

年齢	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
回答者数 (人)	3	10	31	71	113
回答率 (%)	0.3%	1.1%	3.4%	7.7%	12.3%
年齢	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	合計
回答者数 (人)	238	313	130	11	920
回答率 (%)	25.9%	34.0%	14.1%	1.2%	100%

年齢層別の回答者数は70歳代が313人と34.0%を締め最も多く、次いで60歳代の238人25.9%、50歳代は113人12.3%という結果となりました。60歳以上が692人、率にして75.2%を占めました。

回答数=920人

(3)どの小学校地域にお住まいですか。



地域別の回答数は上里東小地域278人30.4%を締め最も高く、次いで神保原小地域186人20.4%、七本木小地域180人19.7%、賀美小地域134人14.7%、長幡小地域124人13.6%という回答数となりました。

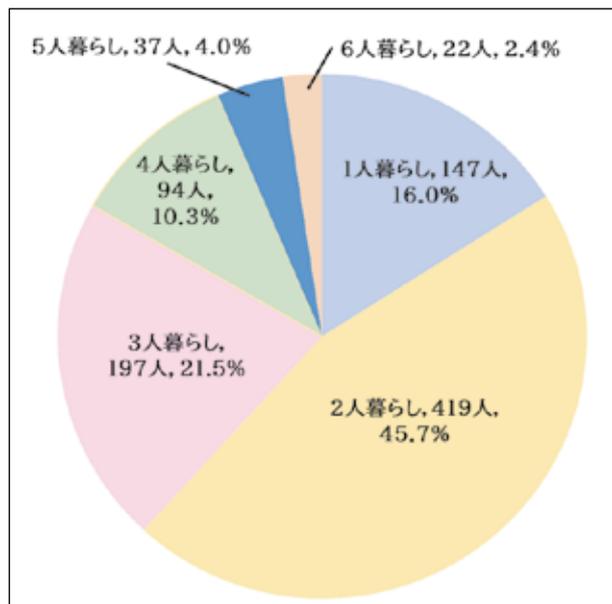
しかしながら各地域の居住人口に対する回答率を算出すると、神保原小地域の相対割合が一番高く、次いで長幡小地域、賀美小地域でありました。

回答数=913人

(4)あなたのご職業などは

職 業	農業	自営業	勤め人	学生・生徒
回答者数 (人)	36	60	221	2
回答率 (%)	4.0%	6.6%	24.4%	0.2%
職 業	主婦(主夫)	無職	わからない	合計
回答者数 (人)	217	323	48	907
回答率 (%)	23.9%	35.6%	5.3%	100.0%

(5)何人暮らしですか。



(5) 住居構成では回答率は2人暮らしの方が419人、率にして45.7%と半数近くを占めました。次いで3人暮らし197人21.5%、一人暮らし147人16.0%という結果でした。

回答数 = 916人

(6) 住宅種類は持ち家(戸建て)870人と94.8%の割合を占めました。

回答数 = 918人

(7) 外出の主な手段は自動車が702人で83.1%、一方電車、路線バス、こむぎっち号などの公共交通の利用は合計で8人0.9%の回答数でした。

回答数 = 845人

(6)お住いの住宅の種類は

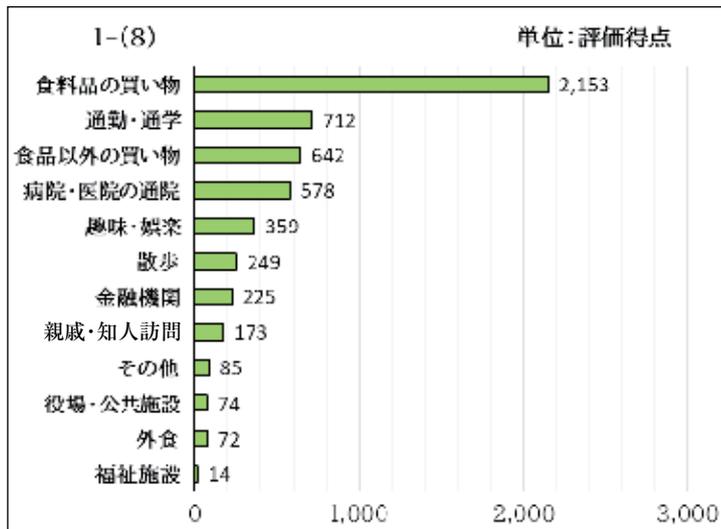
住宅の種類	持ち家(戸建て)	持ち家(集合住宅)	賃貸(戸建て)	賃貸(集合住宅)	その他	合計
回答者数 (人)	870	3	17	22	6	918
回答率 (%)	94.8%	0.3%	1.9%	2.4%	0.7%	100.0%

(7)外出する時には、主に何を利用していますか。

外出手段	自動車	家族の送迎	その他	バイク	自転車	歩き
回答者数 (人)	702	29	6	8	67	19
回答率 (%)	83.1%	3.4%	0.7%	0.9%	7.9%	2.2%
外出手段	電車	路線バス	こむぎっち号	タクシー	合計	
回答者数 (人)	2	1	5	6	845	
回答率 (%)	0.2%	0.1%	0.6%	0.7%	100.0%	

(5)外出の目的で多いのは何ですか。(多い順に3つ記入してください)

※評価方法は選択頂いた順番に対し、1番を3点、2番を2点、3番を1点と評価し、各カテゴリーに点数を乗算し総合得点を評価得点と定義し評価を行いました。



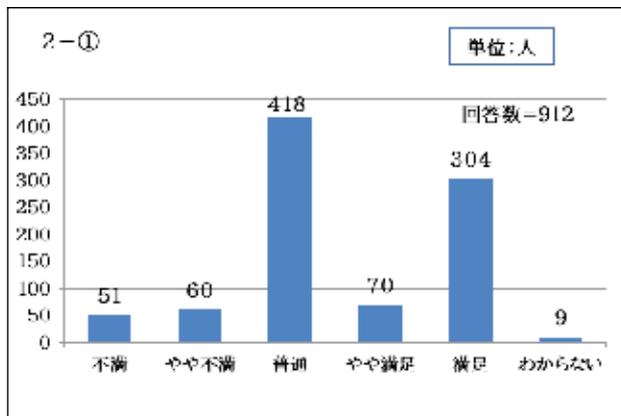
外出の目的で多い順の評価得点は食料品の買い物が2,153ポイントと、次いで通勤・通学712ポイント、食品以外の買い物642ポイントという結果となりました。

外出の動機としては食料品の買い物が圧倒的に多いほかに、食品以外の買い物も3番目に位置づけられたことから、買い物の重要性が伺える結果となりました。

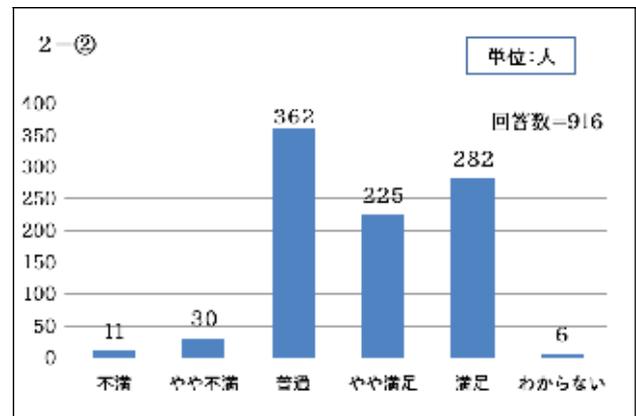
回答数 = 917人

問2. あなたの現状について、お聞かせください。

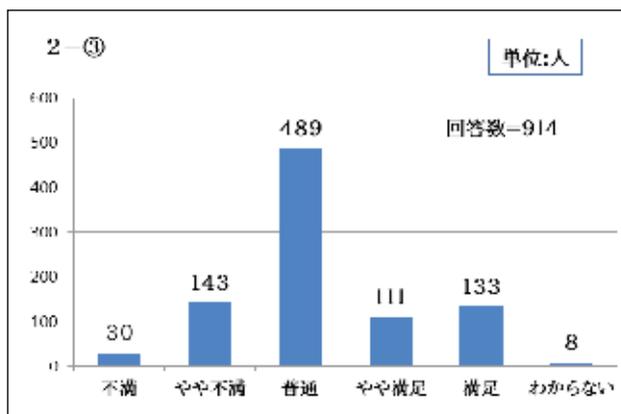
①現在、食料品の買い物時の交通手段はいかがですか。



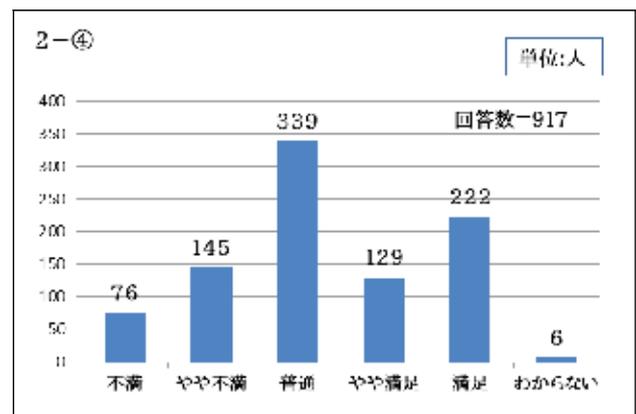
②普段利用する店舗の食料品の品揃えはいかがですか。



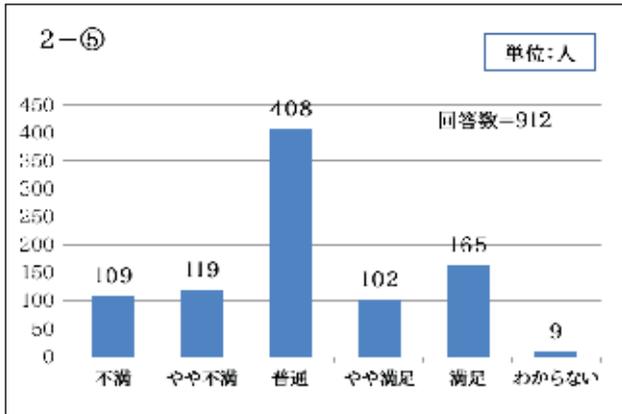
③経済的な面で食料品の購入についてはいかがですか。



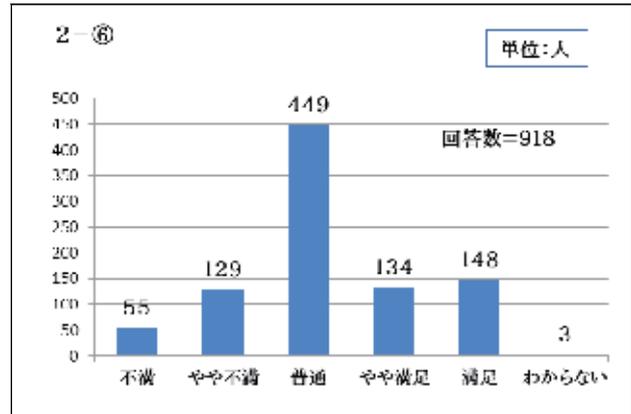
④食料品店までの距離はいかがですか。



⑤医院・病院まで通院する交通手段
についていかがですか。



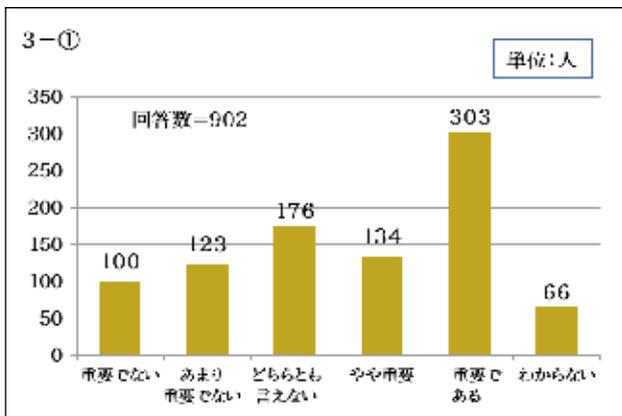
⑥あなたの現在の健康状態はいか
がですか。



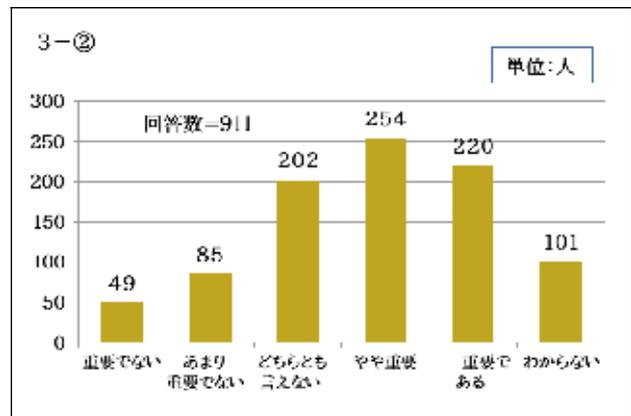
問2では貴方の現状について①～⑥までの全ての質問において「普通」の回答者が=339人から489人と多数を占めました。また「満足とやや満足」の合計は244人から507人の範囲となりました。一方「不満とやや不満」の合計は42人から228人と回答幅が約5倍となり各質問に対する回答に開きがありました。不満の最高は、⑤通院する交通手段でした。

問3. 今後の食料品の買い物などの施策についてお聞かせください。

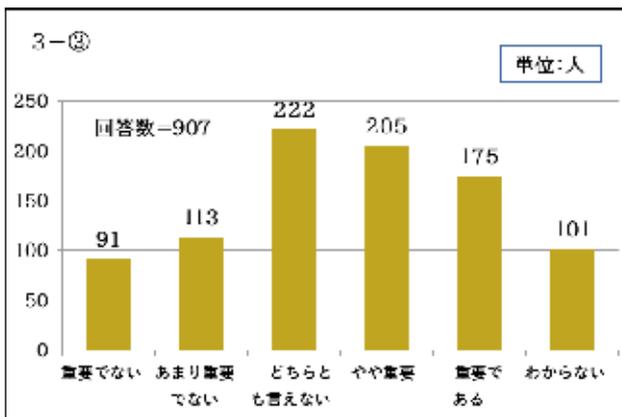
①町の公共交通についてはどう
思いますか。



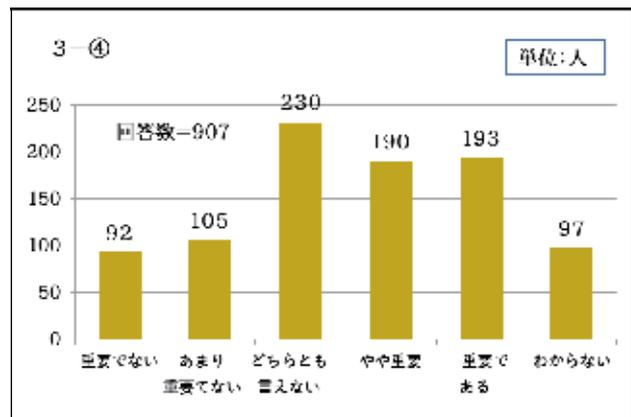
②食料品の宅配サービスについて
はどう思いますか。



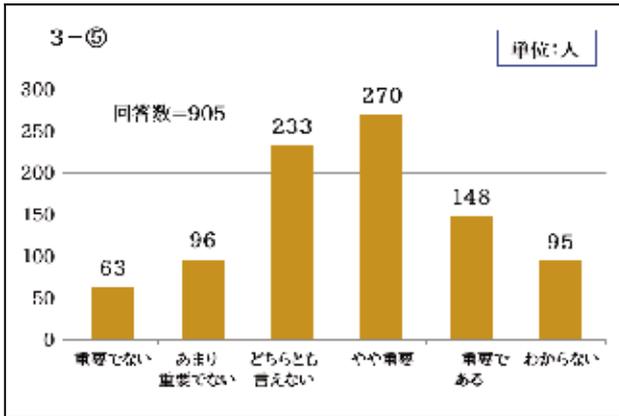
③移動販売車の運行についてはどう
思いますか。



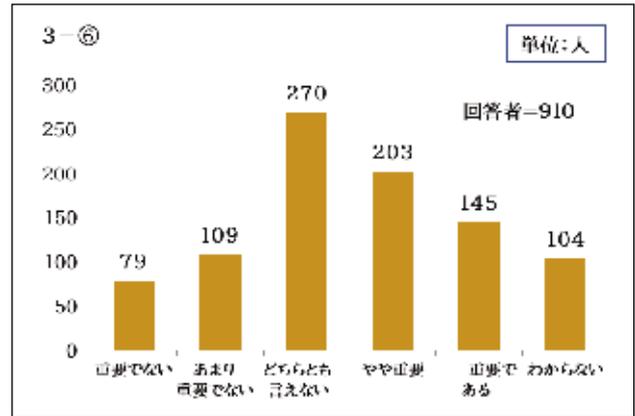
④スーパーの送迎バス運行につい
てはどう思いますか。



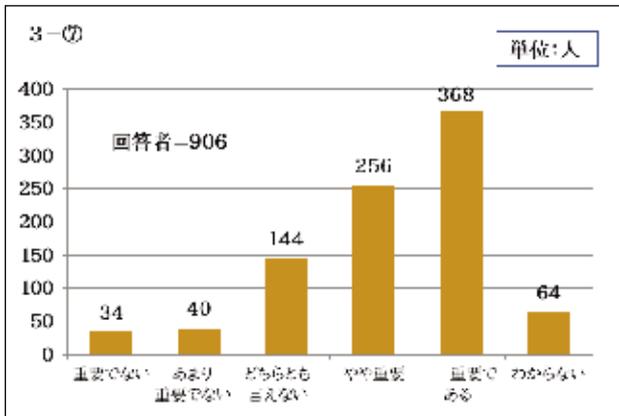
⑤料理・弁当の配食についてはどう
 思いますか。



⑥買い物代行サービスについては
 どう思いますか。



⑦医師の往診サービスはどう
 思いますか。

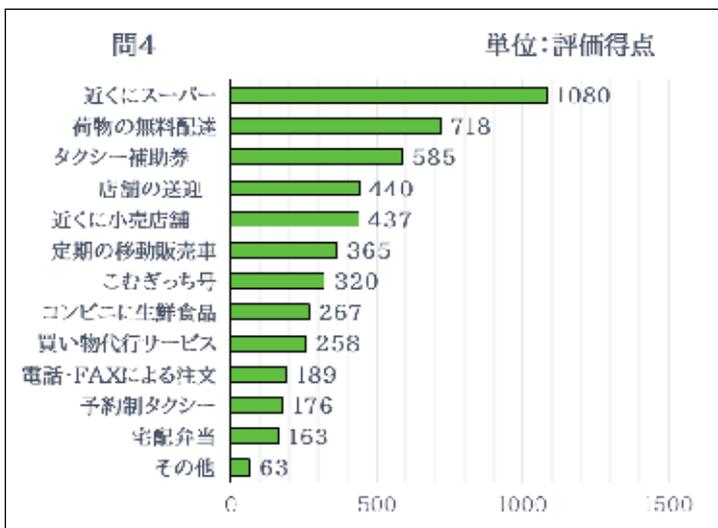


問3の設問に関しては、全体的に「重要・やや重要」の合計回答数が「どちらとも言えない」や「重要でない・やや重要でない」の合計を上回っており、今後の施策への関心度が伺えました。①町の公共交通については、303人が「重要である」を回答し、公共交通への関心度の高さが示されました。

また、⑦医師の往診サービスについては「重要・やや重要」の合計が624人と他の施策と比較しても圧倒的に多く、非常に高い関心が示されました。

問4. 食料品の買い物手段で望むものを重要な順に3つ選んで記入ください。

※評価方法は選択頂いた順番に対し、1番を3点、2番を2点、3番を1点と評価し、各カテゴリーに点数を乗算し総合得点を評価得点と定義し評価を行いました。



問4では上位に、近くにスーパーが1080点、荷物の無料配達718点、タクシー補助券585点などが高評価となりました。一方で買い物代行サービス258点、電話FAX注文189点や宅配弁当163点などが低い評価となりました。

この結果から商店へ出向き自らが商品を手に取り購入したいということが伺えました。

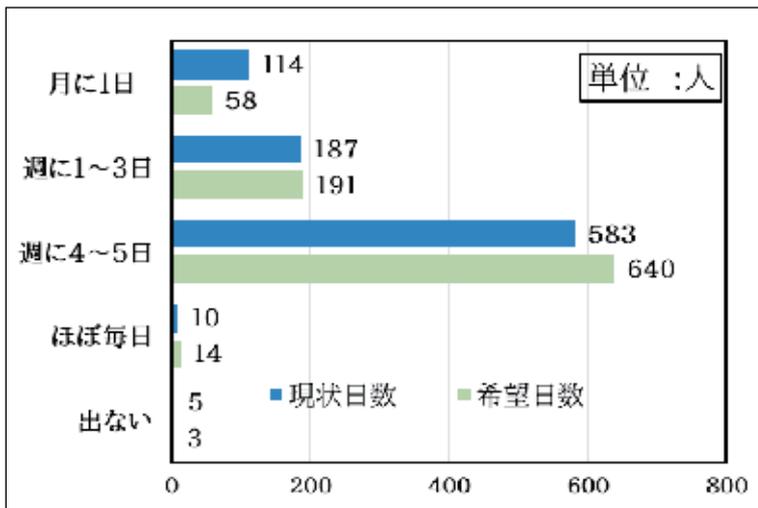
回答数=918人

問5. 現在食料品の買い出しは、どのくらいですか。

問6. 食料品の買い出しは望みとして、どれくらいしたいですか。

(問5と問6については関連がありますので同じ表に整理しました。)

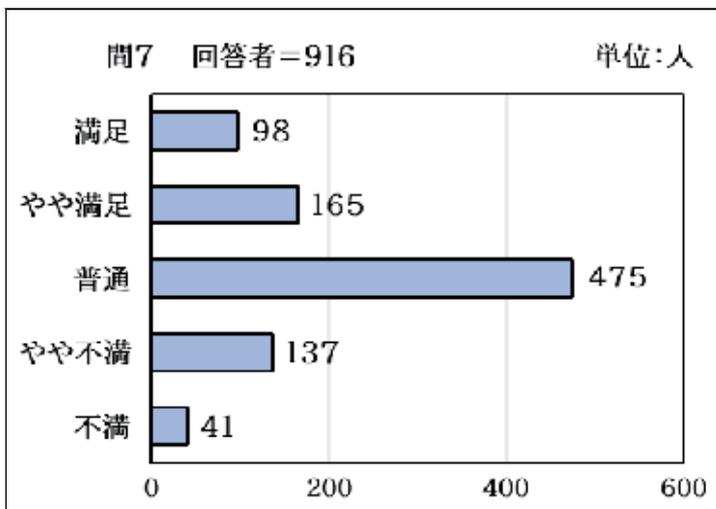
日 数	月に1日	週に1～3日	週に4～5日	ほぼ毎日	出ない
現状日数	12.7%	20.8%	64.8%	1.1%	0.60%
希望日数	6.4%	21.1%	70.6%	1.5%	0.30%



食品の買い出し頻度に関しては現状・希望共に週4～5日が多くなり、次いで週1～3日という回答結果でした。

最も多い週4～5日に関しては現状583人に対し希望が640人と現状よりも希望が増加し、月に1日については現状日数より希望日数が減少するという結果でありました。

問7. 現在の生活全般を総合的に評価するといかがですか。



生活全般の総合評価は普通が475人と全体の51.9%でありました。満足とやや満足の合計は263人で28.7%でありました。

不満とやや不満の合計は178人で19.4%となりました。全体の約5人に1の割合で不満及びやや不満であると回答されておりました。

ご回答頂きましたアンケートに関しましては紙面の都合上、単純集計の結果についてのみご報告させていただきました。クロス集計等、詳細分析につきましては、ホームページに掲載いたしておりますので、ご覧頂きたいと思っております。

また、今般実施いたしましたアンケートにつきましては、質問内容、集計分析及び作図などのすべてを、議会公共交通等対策特別委員会で企画し作成いたしました。専門業者への業務委託という手段を取らず、議会が自ら試行錯誤を重ね検討作成いたしましたので、分かりにくい点多々あるかと存じますが、ご了承いただけますと幸いです。

《 自由意見 》

回収した923中のうち383人が自由意見を寄せて下さいました、その一部を掲載いたします。年末年始のお忙しい折、多くの貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。

賀美小 60代男性	町の公共交通について、バス停をもっと増やした方がいい。手をあげれば、どこでも止まれる様に。家からバス停が遠い。
長幡小 70代女性	近くに食料品店や医院がないのは、とても生活に不安を感じます。こむぎっちもバス停が遠いので買物の持ち帰りに不便です。
七本木小 70代女性	今は車で外出が出来るが、免許を返納した後は、近くにスーパー等がないので困る。今のこむぎっち号では利用できない。もう少し使いやすい交通手段を考えてほしい。
神保原小 60代女性	免許は無く、こちらにきました。子供も離れて暮らすようになり不便さを更に感じておりましたが、こむぎっち号は大変助かります。ただ、日曜日12/29～1/3の運休が困ります。本数を少なくしても運行して欲しいです。家族が居ても自由に行動したい方はいます。年齢に関係なく、こむぎっち号を利用しています。これからも運行をお願いします。
賀美小 70代女性	現在、車を利用しているが、運転できなくなった時、病院へ行く事が不安。こむぎっち号を利用したいと思っているが、乗車してもバスの回数が少なく(病院に行く等、利用したい)午前に目的地に行っても午後でないと家に帰って来れないなど不便。
上里東小 80代女性	町の財政難は承知して居ますがこむぎっち号は有り難い乗り物です。何にとぞ存続をお願いいたします。(ユニクスから図書館・役場(中央公民館)利用者) ※もう少し少人数で乗れる自動車が良いのではないのでしょうか?
七本木小 70代男性	こむぎっち号の利用が少ない様だ、廃止してもっと必要とされる方法を考えてほしい。例としてタクシー券を配布、(全家庭)を対象とするほうが良いと思う。
長幡小 70代女性	今は車の運転が出来誰かに頼らず出掛けられるが車が乗れなくなった時は大変だと思います。近くにちょっとした店があれば助かると思う。
上里東小 70代男性	いつもこむぎっち号を見ているが、利用客が乗っているのを見た事がない。何台も無駄に走らせている。税金のムダ使いの感がしてならない。
神保原小 70代女性	今のところ、主人も私も車を運転できて不便を感じませんが、将来、免許を返納した時、歩いて行けるスーパーがあり、病院に行けるタクシー補助券があると助かります。
上里東小 60代女性	まだ車の運転ができるので不便ではありませんが 免許証を返納したら近くにこむぎっちが通って欲しいです。タクシー券もあれば病院に行ったりするのに便利かと思うのです。

《 ま と め 》

上里町議会は、少子高齢化による核家族化が進む中で、当町でも買い物などの移動手段が課題となりつつあることから、2019年6月議会において公共交通等対策特別委員会を設置いたしました。コロナ禍による制約もありましたが、他自治体に関し調査研究を行う中で、最終的には町民の願いを基に、上里町に必要な独自の公共交通手段を明らかにするために、町民アンケートを実施いたしました。

アンケートの結果は、問1の(7)現状の公共交通手段では83%が車を利用しており、「こむぎっち号」の利用者は0.6%でした。また問4の食料品の買い物手段で望むものでは上位に、「近くにスーパー1080点」「荷物の無料配達718点」「タクシー補助券585点」に対し「こむぎっち号320点」となり、買い物手段としての「こむぎっち号」は低い評価となりました。一方、382人に記載していただいた自由意見を分析すると「今は不便ではないが、免許証返納後は不安や心配」と言う意見が多く見受けられ、将来的には何らかの公共交通手段を希望している意見が多数でした。「こむぎっち号」の運行については、利用していて助かっているや、将来は利用したいという意見が28人、バスの小型化や停留所・時刻表の見直しなど「こむぎっち号」の改善を求める意見が45人、両方合わせると肯定的な意見は73人でした。これに対し「こむぎっち号」は不要・ムダなど否定的な意見は54人でした。

今後の公共交通手段としては、タクシー補助券を望む意見が43人、予約制タクシーを望む意見が18人、合わせて61人の方が「こむぎっち号」以外の公共交通手段を望んでいます。この結果から将来の公共交通手段としては、「こむぎっち号」を改善し定時定路線バスの運行を継続する方法と、予約制を含むタクシー補助券に切り替える方法に、大差のないことが分かりました。

さらに、自由意見欄では免許返納に関し圧倒的多数が現状は不安ではないが、免許証を返納する時期が来たら不安であると回答を頂きました。このことから人口比率の高い団塊の世代が免許証を返納する時期が来るまでは、どのような公共交通手段であろうと、利用者の増加はさほど期待できないと推測できます。

そこで、それまでの間に、すでに困っている住民の公共交通として相応しい新たな交通手段を検討する必要があります。定時定路線バスの「こむぎっち号」は、出かける回数が多い買い物等には、料金負担も少ないという利点があります。一方タクシー補助券は料金負担が増えますがドア・ツー・ドアが可能になるという利点があります。町の財政面から見ても現状では困っている住民が少数な為、タクシー補助券に切り替えることは効果的だと思います。しかし、交通手段を持たない住民が多数となる近い将来には、「こむぎっち号」のような定時定路線バスを運行する方法が有効と考えます。

【議会提案】

将来の交通手段に対する不安は、どの地域にお住まいの住民の方も非常に大きく、免許証返納後の公共交通手段への関心も高いことが伺えました。この様な将来を見据えて考えると、現在は利用者が少ない状態ですが、定時定路線バス（こむぎっち号）をなくすべきではないと考えます。

今後は「こむぎっち号」の小型化や停留所の数、時刻表を改善するための大胆なルート変更などを図りながら運行を続けることで、高齢者が運転免許証を返納する手助けになることを望みます。

また、現状において「こむぎっち号」では行きにくい医院や病院の通院は、タクシー補助券を並行して実施する必要があると考えます。

【上里町議会から町執行機関に下記3項目を要望します】

1. 近くで買物が出来るよう、コンビニなどの生鮮食品の充実に関する施策の検討。
2. 各店舗に対して、買い物後の荷物を運搬するサービスの施策の検討。
3. 町内の医院・病院に往診サービスの実施に関する施策の検討。

議会日誌

3月

- 5日 定例会開会、町長の施政方針及び行政報告、一般質問
- 8日 一般質問
- 9日 全員協議会
- 10日 議案審議（条例改正等）
- 11日 議案審議（令和3年度当初予算）
- 12日 議会活性化特別委員会
- 16日 全員協議会
- 17日 全員協議会
- 18日 議案審議（令和2年度当初予算）
- 19日 文教厚生常任委員会
公共交通等対策特別委員会
- 23日 全員協議会、定例会閉会
議会活性化特別委員会
- 26日 児玉郡市広域市町村圏組合議会

4月

- 5日 埼玉県町村議会議長会役員会
- 9日 公共交通等対策特別委員会
- 15日 議会だより編集委員会
- 22日 議会活性化特別委員会

5月

- 7日 全員協議会、臨時会
公共交通等対策特別委員会
- 14日 議会だより編集委員会
議会活性化特別委員会
- 17日 議会運営委員会
- 20日 児玉郡町議会議長会総会
- 27日 埼玉県町村議会議長会臨時総会



編集後記

政府は、大阪府や東京都等に加え、埼玉県も4月16日に「まん延防止等重点措置」地域に追加適用を決定しました。
また、N501Y（英国型）等の変異ウイルスの広がりも懸念材料です。感染力が強く、若年層でも重症化する可能性があるとのこと。
切り札のワクチンは、高齢者の接種が始まったばかりで、町民一人一人が気を引き締めて、感染を防ぐことが大切です。

緊急事態宣言の全面解除から1カ月足らずで、新型コロナウイルスの感染が急拡大しています。既に「第4波」が到来したと認識し、対策を徹底せねばなりません。

- 議会だより編集委員会
- 委員長 仲井 静子
 - 副委員長 高橋 茂雄
 - 委員 新井 実
 - 委員 高橋 仁
 - 委員 沓澤 幸子
 - 委員 植原 育雄

6月定例会の日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4 (開会) 一般質問	5
6	7 一般質問	8 議案審議 (条例・補正)	9 特別委員会	10 常任委員会 特別委員会	11	12
13	14 常任委員会	15 報告・採決 (閉会)	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

※開会は原則午前9時です。午前中で議事が終了しない場合は、午後の再開は1時30分からです。(時間に変更になることがあります)
※議事の進行上、休憩が入る場合があります。

6月定例会一般質問一覧

	氏名	質問事項
4日(金)	植原 育雄	①公共施設再配置・維持保全計画について
		②町内小中学校の少人数学級について
		③虐待について
齊藤 崇	①コロナ禍における社会活動について	
	②少子化対策について	
	③SDGsについて	
高橋 勝利	①文科省が小学校の教科書が改訂される2024年度からデジタル教科書の本格導入を目指している事について	
	②神奈川・埼玉・千葉の3県が「まん延防止」対象地域を拡大した事について	
新井 實	①隣保館跡地の有効利用について	
	②神保原駅北口周辺まちづくりに関するアンケート調査について	
	③日本の固有の領土「竹島」について	
	④災害時に飼い主がペットを連れて「同行避難」することについて	
	⑤高齢者向けのワクチン接種について	
納谷 克俊	①下水道事業について	
	②道路側溝について	
飯塚 賢治	①災害弱者の避難支援強化について	
	②防災・減災対策の強化について	
	③シトラスリボンプロジェクトの推進について	
	④子ども学習支援事業(アスポート事業)について	
	⑤ベトナム人の失踪村について	
仲井 静子	①感染症対策について	
	②子どもの近視予防対策について	
沓澤 幸子	①生理用品の社会化について	
	②ワクチン接種について	
	③生活支援対策について	

